

ウサーマ・マクディーシー著

『共存の時代—エキュメニカルな枠組みと近代アラブ世界の形成』

読書会のご案内

Age of Coexistence: The Ecumenical Frame and the Making of the Modern Arab World, by Ussama Makdisi, University of California Press, 2019.

<https://www.ucpress.edu/book/9780520385764/age-of-coexistence>

●読書会の趣旨

宗派主義 (sectarianism, tā'ifiyya、ユダヤ教徒、キリスト教徒、クルド人なども含む) をめぐる諸問題は東アラブ地域で常に議論されてきましたが、2000年代にはイラクやレバノン、2010年代にはシリアにおいて深刻な形で顕在化しました。かかる状況を受け、政治学や国際関係学の立場からの時宜にかなった研究が生まれています。しかし、歴史学や思想史の立場から、オスマン帝国末期からイスラエル建国後にいたるまでの東アラブ地域の近代史を貫くダイナミックな文脈を、幅広くかつ緻密に読み直そうという努力も要請されています。著書のマクディーシー氏は長きにわたってレバノンを中心とした東アラブの宗派主義問題の歴史的研究に大きな貢献を果たし、同書はその集大成のようです。

著者が「共存の時代」と名付けたのは、「東アラブ地域はモザイク社会」などといった各宗教・宗派・民族コミュニティの分断を自明とするような言説が、今日の現状追認の論理としてますますはびこっていることへの危惧があらうかと思われます。また最終章がパレスチナ問題に当てられているのも、「共存の枠組み」が根本的に崩されてきた決定的要因に関する考察であることは疑いありません。

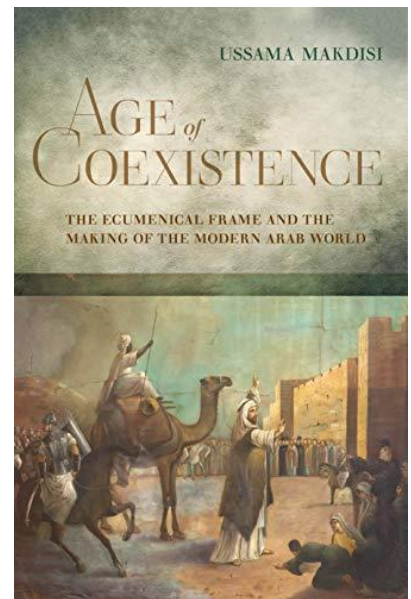
今年4月にヒューストン大学でジュディス・タッカー、イラン・パペ、ジェミル・アイディンといった各専門地域・分野の代表的学者による、同著に関するたいへん刺激的な合評会も行われました。日本においても同著の読書会を定期的に催した後に、邦訳出版や原著者の招聘といったプロジェクトの実現につなげていけたらと考えます。

<https://www.youtube.com/watch?v=EIIAq2fqTHQ> (2021年4月のオンライン・シンポの動画)

●著書の内容・目次

イントロダクション

・第一部



1. 帝国の時代における宗教的な差異
 2. 宗派主義の暴力の試練
 3. ジェノサイドの時代の共存
- ・第二部
4. 植民地の複数性
 5. オスマン帝国以後のアラブ世界における宗派主義と反・宗派主義
 6. エキュメニカルな枠組みの破壊:パレスチナにおけるアラブ人とユダヤ人エピソード

脚注

参考文献

索引

●著者紹介

ウサーマ・マクディーシー:ライス大学歴史学担当教授。
2019-2020 年度にカリフォルニア大学バークレー校歴史学
部客員教授。アラブ近代史、米・アラブ関係、オスマン帝国
史、宗派主義を専門とする。主な著書は以下の通り。

— *Faith Misplaced: The Broken Promise of U.S.-Arab
Relations, 1820-2001* (Public Affairs, 2010)

— *Artillery of Heaven: American Missionaries and the Failed Conversion of the Middle East* (Cornell
University Press, 2007)

— *Memory and Violence in the Middle East and North Africa* (Indiana, 2006) co-edited with Peter
Silverstein

— *The Culture of Sectarianism: Community, History and Violence in Nineteenth-Century Ottoman
Lebanon* (Univ. of California, 2000).

<https://history.rice.edu/faculty/ussama-makdisi>



●第1回読書会:2021年9月14日(火)13:00~16:00

※毎回、担当者が担当箇所をレジュメでまとめて発表。各自は予め原文を読んでおき、疑問点や
意見などを持ち寄って話し合います。第1回は岡崎弘樹(日本学術振興会)が担当します。

●申し込み・問い合わせ:projectwatan3@gmai.com(西道)

※申し込みをされた方に、テキストのコピーと Zoom のリンクをお送りします。

主催: 科研基盤研究(A)「トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領
域横断的研究」(代表: 岡 真理)